

(別紙4(2))

事業所名 宅老所・グループホーム今井あんきの家

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 9 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	○虐待防止の徹底 スピーチロックがある。	ゼロにする。	最小限にする意識づくりの研修実施。 言葉を肯定的なものへ置き換える技術の共有。	12ヶ月
2	21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係性を職員都合で阻害している。	職員都合での阻害をゼロにする。	ガイドラインを作成し共有する。 許容範囲は、利用者同士の関係性を尊重する意識作り。	12ヶ月
3	23	○思いや意向の把握 把握が入所時の情報のままで、更新されにくい。	現在の利用者の思うや意向の把握(推察も含め)	スタッフの何気ないひと言から思い・意向を拾い、カンファレンス・会議・情報書類を通じて共有する。	6ヶ月
4	50	○お金の所持や使うことの支援 できていない(混乱を招く為、行っていない)	買物の機会をつくる。	現金の管理は難しく、かえって混乱を招いてしまうので検討が必要だが、現金を施設で預かる／施設の立替金で買物の機会を作る、など別の方法を考え実施する。	12ヶ月
5	53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり できていない	一人または気の置けない仲間だけの空間を作る。	食堂やベランダの使用方法を検討し、少数の方が、短時間でも、そこで過ごせるように工夫する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。